

- 1) 演題名：社会を変える歯科医療のヒントがここに！
- 2) 築山鉄平 Teppei Tsukiyama
- 3) 所属：つきやま歯科医院 専門医療クリニック天神

Tsukiyama Dental Clinic, Specialist Center Tenjin

4) 略歴

- 2001年 九州大学歯学部 卒業
- 2001～2004年 佐賀医科大学（現佐賀大学医学部）歯科口腔外科 勤務
- 2004～2006年 東京都中央区日本橋 矢澤歯科医院 勤務
- 2006～2009年 タフツ大学歯学部歯周科 post-graduate program 修了  
最優秀臨床賞（Certificate of excellence）受賞
- 2009年 米国歯周病学会歯周ボード認定医 取得  
（Diplomate, American Board of Periodontology）
- 2010年 米国歯科修士取得（Master of Science）
- 2009～2010年 タフツ大学歯学部審美補綴 フェロー
- 2013年～ 福岡歯科大学予防歯科学講座 非常勤講師
- 2014年～ タフツ大学歯周病学講座 Visiting Clinical Assistant Professor
- 2017年 ヨーロッパインプラント学会（EAO）認定医 取得
- 2011年～ 医療法人雄之会 つきやま歯科医院 勤務

5) 抄録

日本は世界に例を見ない超少子高齢化社会を迎えて、日本における平均寿命は1900年の40歳未満から2016年までの85歳へと上昇しました。この劇的な変化は感染性疾患に対する対抗手段を人類が身につけた結果だと言われています。それに伴い死因順位にも大きな変化が生まれ、1900年の上位を占める感染性疾患（結核、肺炎、消化器感染症）から2010年の上位は加齢に伴う慢性炎症性疾患（がん、心疾患、脳血管疾患）へと大きく死因が変化してきました。口腔内の2大疾患の1つである歯周病も感染性の炎症性疾患であるという観点から全身疾患の1つとみなされるべきであり、私たち歯科医師や歯科衛生士は炎症性疾患予防のフロントラインに立っています。その背景に基づけば、予防歯科医療、医科歯科連携が加速する、と思われがちですが歯科界の中だけで叫んでいても広がり弱く、今後は社会としっかりつながりながらたゆまない努力が必要です。世界でも有数の長寿少子化国家の日本において私たちにできることを参加者のみなさんと考えるセッションになれば幸いです。